

2013/5/20 (Mon.) 増刊 第79号

日本医師連盟ニュース

日本医師連盟ニュース
 - 発行所 -
 日本医師連盟
 東京都文京区本駒込2-28-16
 〒113-8621
 TEL: 03-3947-7815
 FAX: 03-3947-2662
 E-mail: info01@nichiren.jp

<http://www.nichiiren.jp/>

定価 1年400円 (但し日医連負担金に含む)

日本医師連盟副委員長 羽生田たかし 特集号

本増刊号は日本医師連盟副委員長、自民党参議院比例区(全国区)支部長の羽生田たかしさんを集めます。

すべての人にやさしい医療を



安倍総理と医療政策の推進を!

私は、40年にわたり、医師として医療の現場に携わってきました。そこで、誰もが安心して医療を受けられることの大切さを心から実感しました。

日本の医療制度が揺らぎはじめている今だからこそ、日本の医療・介護を、そして国民の皆さまを守りたい。

その想いを胸に、よりよい社会づくりに努めてまいります。

はにゅうだ 羽生田たかしさん

略歴

昭和23年3月	群馬県前橋市生まれ
昭和41年3月	群馬県立前橋高等学校卒業
昭和48年3月	東京医科大学医学部卒業
6月	群馬大学医学部附属病院眼科学教室入室
昭和53年4月	羽生田眼科医院院長
昭和62年11月	社団法人前橋市医師会理事
平成5年4月	社団法人群馬県医師会理事
平成6年6月	労働衛生コンサルタント
平成12年4月	社団法人日本医師会常任理事
平成22年4月	社団法人日本医師会副会長



一生懸命頑張ります!
ただ誠実に。ひたむきに。

めざす政策

安心して医療が受けられる社会を創ります

誰もが、いつでもどこでも、最良の医療を受けられるように。国民皆保険体制を守り、国民が必要とする医療を、最適なかたちで受けることのできる社会をつくりまします。

地域に密着した医療を創ります

身近で、暮らしと強く結びついた地域医療を目指して。高齢社会をふまえ、それぞれの地域に応じた保健・医療・介護体制の整備を実現します。

信頼関係を基盤とした医療環境を創ります

皆さまが、もっと安全な医療を受けられるように。医療事故の原因究明と再発防止を徹底し、医療従事者が安心して働ける環境をつくりまします。

参議院比例区(全国区)の投票方法について

参議院比例区(全国区)は名前を書いて投票する選挙です

1枚目 それぞれの都道府県で 地元の都道府県選挙区候補者名を

2枚目 全国で 比例代表(全国区)も候補者名を必ずお書き下さい

被災地の方々の健康保持にも努めます

東日本大震災で被災され、今なお仮設住宅等でご不便な生活を強いられている皆さまへの医療提供体制の充実と医療従事者の皆さまへの支援を被災者健康支援連絡協議会事務局長としての経験を生かし進めます。



▲診察中の羽生田たかし



▲病院訪問 看護師さんの力強いエール!



▲医師会の代表として国政へ!
(左から) 鶴谷群馬県医師会会長、羽生田たかし、横倉日本医師会会長



▲事務所開きで挨拶する羽生田たかし

はにゅうだ

羽生田たかし・福田元首相と語る

世界に誇る 保険制度

福田 羽生田さんどうも苦勞さま。いよいよよ闘いですね。私は前から羽生田さんに政治家になって欲しいなと思ってました。医療界を代表して、しっかりした意見を持っておられるのは、羽生田さんだと思つてましたからね。本当に私はいくらく思つています。でもどうですか、どんな気持ちで今いらつしやいますか？

羽生田 日本医師会で長い間医療政策に携わつてきましたが、やはり今が日本の医療制度の分岐点だと思ひます。どのように対応すべきか考えていたところ、自民党の参議院支部長として日本医師会とともに政治活動をはじめめる決意をいたしました。

福田 そう、羽生田さんしかいない、というくらいに思つてますよ。本当にいい方に決意して頂いたと思つてます。そして今曲がり角とおつしやつたけれども、まさに世界中から評価されている日本の国民医療制度。これはなんとしても守つてもらいたいと思ひもいっぱいあります。

羽生田 今の経済状態では保険の財政を支えていくことが非常に厳しいですね。それを改善しようという動きが、むしろ保険制度を縮小させてしまうんじゃないかという心配があります。国民のための保険ですからそれをしっかり守らねばいけないと思つています。

日本の医療制度を守る



と悪いところとあります。将来的には職域保険と地域保険とふたつになるようもつていくべきと思つています。その先一本化するのには難しい面もありますが、まずは職域と地域と二本立てにまで保険を大きくしていったほうが財政的にも安定します。その方が国民もきちつとした医療を受けられると思つています。

福田 そういう国民の間の国民の制度ですから、ずっと長く続くように今から工夫して



いかねばなりません。そのへんをしっかりとやつていただきたい。そういうことをやつてくださるリーダーとして頑張つて欲しいと思つてますよ。

羽生田 おつしやる通りです。日本の皆保険制度を輸出していくべきだと考えています。

福田 来週、韓国で国際会議があるんですが、そこでもね、日本の保険制度をPRしようと思つてるんです。

羽生田 保険制度をめぐつては様々な大変な状況があります。日本医師会では国民の立場に立った考え方をいろいろな場面を通じて提案しています。保険の団体が数百年あつて、財政の良い

助け合いの文化を 若い世代へ

きました。福田 国会議員を客観的に見てこれたわけですからね、議員がどういふものかというのには羽生田さんが番よ。知っていると思ひます。いいところ悪いところありますけどね。

羽生田 さまざまな場面でお二人お二人に説明をして、理解をして頂くことが大事です。

福田 これからのことを考えますと、やっぱり医療はしっかりとしたいと思ひます。特に若い世代の人たちが、今のようない医療を受けられるかな。今は日本の分かれ道ですよ。日本の社会がきちんとやつていけるか、もしくは崩壊してしまうのか、悲惨な目には遭いたくない。

羽生田 今の日本のこの医療制度は基本的に昔からの日本の文化としてあつた、「助け合い」の精神があつてこそ初めてこうした保険制度ができるんです。そういう面が若い方に少し薄れてきているのかなという心配があります。教育の面から「助け合い」という素晴らしい文化をきちつと守つていかないといけないのではと思ひます。

福田 助け合いというのは日本の社会の基礎です。他の国の国会議員を日本の地方へ案内するとね、みんなびっくりするんですよ。都心ではなかなか見られないけど、地方では自分たちで色んなことをやつていて、そういう姿が見えるんですね。それでね、日本というのは自分の国とは違ふんだな、自分たちもこういうことをしなければいけません。皆さん実感して帰られますけどね。農業もそうですが、日本の良さを、我々は理解しなければいけません。だから大事な仕事を大事にしていくというこ

医療の現場から 国民の声を

羽生田 困難は多いですが、そういうことをきつちりとできるよにならいたいと思つています。今まで日本医師会という立場で議員の先生方に陳情なり、お願いなりという形で

羽生田 困難は多いですが、そういうことをきつちりとできるよにならいたいと思つています。今まで日本医師会という立場で議員の先生方に陳情なり、お願いなりという形で

羽生田 困難は多いですが、そういうことをきつちりとできるよにならいたいと思つています。今まで日本医師会という立場で議員の先生方に陳情なり、お願いなりという形で



はにゅうだ
羽生田たかし 後援会事務所

〒113-0021 東京都文京区本駒込6-15-9 1F
TEL. 03-3942-4512 FAX. 03-3942-4518
オフィシャルサイト www.hanyuda-t.jp

JR山手線(駒込駅).....徒歩約5分
東京メトロ南北線(駒込駅)2番出口...徒歩約3分

